

「資産運用コンサルティングのポイント Vol.34～ 多様化するETF、どのような種類があるのか？ ～後篇～>」



株式会社 ZUU の冨田和成です。今回は、ETF の基礎的なポイントを解説しました。今回は、ETF の種類や今の動向について紹介したいと思います。

■多様化するETF 売買高も10年で10倍

現在、東京証券取引所には195本ものETFが上場しています。竹中元大臣が問題発言を行った2003年には19本しか無かったことを思うと、隔世の感を禁じ得ません。2015年12月における国内ETFの売買は、1カ月で5兆円を超えました。10年前には5000億にも満たなかったのですから、売買高は実に10倍にも膨れ上がったことになります。

かつて投資対象は、株価指数に連動するシンプルなものが主流でしたが、今や多岐にわたっています。日本株でも、市場や規模、業種などテーマ別に銘柄を選択しているETFもあれば、REIT、外国株、外国債券、商品に至るまで、その種類の多さに驚かされます。

なかでも、最近注目を集めているのが「レバレッジ型」や「インバース型」のETFです。レバレッジ型とは、その名の通り、投資対象となるTOPIXや日経平均株価の2倍の値動きを目指すもの。一方、インバース型は、投資対象とは逆の値動きを目指します。

「NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信」 <1570> は、あまりの人気で信託金額が設定限度額に迫り、一時は新規の申し込みを停止したほどです。相場の上昇時はもちろん、下落時にも、逆張りを好む個人投資家が積極的にこのETFを売買し、東証の売買高トップとなることも多くあります。

■リスクをとる投資家、ETFの3階建て投資へ

投資家の注目を集めるETFは、銘柄、売買高とも順調に増加しています。しかし、全てのETFが順調に残高を伸ばしているわけではありません。なかには、純資産残高が少なく流動性が低いものがあるのも事実。流動性が低いということは、いざというときに、思った値段で売却できないというリスクもあり得るのです。

存在感を増すETFについて、日銀は1月14日付で「最近のレバレッジ投信の動向について」というタイトルのレポートを出しました。個人投資家は、相場の流れに逆らって投資する「逆張り戦略」を採るケースが多いと言われています。2015年夏に起きた中国ショックの際には、

個人投資家が株式相場の急落局面でレバ型 ETF を買い、それが相場下落の歯止めになったとされています。ところが、1月の相場下落時には様子が違いました。

レバ型 ETF を現金で購入していれば、株価が下がっても保有し続ける限り耐えられるものです。しかし信用取引では、評価損が拡大したり、決済期日が近付けば、追証や反対売買を迫られることとなります。通常、相場が反転するタイミングでは出来高が急増しますが、それにもかかわらず、今回は様子が違っていました。

今回の相場の下落局面では、含み損に耐えられなくなった個人投資家が、売りに回った可能性があるといえます。当初は逆張り戦略で買い向かった投資家が、想定以上の値下がり、最終的にはレバレッジをかけたポジションを急速に巻き戻さざるを得なくなったと考えれば、説明がつくのです。

レバ型 ETF を信用取引で買う、いわゆる「3階建て投資」は、これまで以上に個人投資家のリスク許容度を引き下げています。これにより、相場全体が従来の常識とは異なった動きを見せるようになってきていることには、十分な注意が必要でしょう。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors-Support： <http://support.zuuadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuoonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 企画開発部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488